

令和3年度秋期 プロジェクトマネージャ 午後I試験 解答速報

(株) アイテック IT人材教育研究部 2021.10.13 発表

2021.10.14 修正【問2 設問2(3) 設問3(3)】

問1 新たな事業を実現するためのシステム開発プロジェクトにおけるプロジェクト計画

【解答例】

[設問1]

- (1) 運営に大きな不確実性があるのでコストを抑える狙い
- (2) 顧客のニーズや他社動向が急激に変化するという環境
- (3) 多様な技術の中から採用する技術を迅速に決定できるから

[設問2]

- (1) 機能単位の小さいサイクルで開発工程を繰り返すアジャイル開発の方法
- (2) 新しい保険商品の開発や顧客の開拓を推進する狙い

[設問3]

- (1) a: エスカレーション b: リスク許容度 c: 強化 d: 転嫁
- (2) G社の本社機構と事業部のキーパーソンを参画させるという方針

問2 業務管理システムの改善のためのシステム開発プロジェクト

【解答例】

[設問1]

要件の変更や追加に迅速かつ柔軟に対応できる体制を構築する狙い

[設問2]

- (1) CS向上の効果についての費用対効果
- (2) 予算がCSWSの活動予算の一部という制約
- (3) CSWSの新たな施策を速やかに展開すること

[設問3]

- (1) L社業務管理システム及び業務全体を理解したメンバ
- (2) 現状の正確性と処理性能を維持するという観点
- (3) システムの改善による顧客の購入体験に基づく顧客価値の程度

問3 マルチベンダのシステム開発プロジェクト

【解答例】

[設問 1]

- (1) X社派とY社派がいて、プロジェクト推進上の阻害要因を抑える狙い
- (2) X社とY社の責任者が、他社の作業への関与を容易にする狙い

[設問 2]

- (1) 接続機能の実装の開始時点をX社とY社で揃える。
- (2) 連動テストは準委任契約でありA社側に指揮命令権がないから
- (3) 両社の技術者が互いの詳細設計書を照合してレビューし不整合を摘出する。

[設問 3]

- (1) 変更により影響を受ける箇所の特定に漏れないこと
- (2) マネジメント予備費を確保する。

以上

